

河川底質調査結果（速報値）について

令和7年8月に福岡市が実施した河川の底質調査結果（速報値）を示します。

調査日：令和7年8月5日

[illegible]

底質を示す指標には様々な種類がありますが、底質悪化の主要因である有機物の指標として化学的酸素要求量（COD）や硫化物があります。

化学的酸素要求量（COD=Chemical Oxygen Demand）：有機物（=汚れ成分）を分解するために必要な酸素の量を表しています。CODが高いほど、有機物が多く底質が悪化しているといえます。

硫化物：有機物を分解するのに酸素が使われますが、酸素が不足すると硫酸イオンの酸素が使われ、結果として硫化物ができます。硫化物が高いほど、酸素が不足してしまうくらい有機物が多く、底質が悪化しているといえます。

【塔の本橋】

※COD：2.5 mg/g 硫化物：48 mg/kg



【板付橋】

※COD：<0.5 mg/g 硫化物：11 mg/kg



【那の津大橋】

※COD：15 mg/g 硫化物：1100 mg/kg



【玄洋橋】

※COD：14 mg/g 硫化物：260 mg/kg

